


アルゼンチン共和国		
		
<p>革命軍の軍服の色からできていて、中央の太陽は「5月の太陽」と呼ばれている。</p> <p>独立：1816/7/9 スペインより</p> <p>国連加盟：1945/10/24</p> <p>政体：代表共和連邦制</p>		国 の 概 要
	首都	ブエノス・アイレス
	国土	面積 376万 1,274 km ² (日本の7.3倍) 地形的には、北部のグランチャコ(森林地帯)、ラプラタ川流域のパンパ(温帯草原)、南部の乾燥したパタゴニア、西部国境の急峻なアンデス山系の4つに大別される。
	人口	3,700万人
	言語	スペイン語(公用語)
	通貨	ペソ
	気候	北部は亜熱帯気候で特に高温多湿となる。パンパの平原は温帯で冬季にも降雨があり、大変快適な気候である。内陸部および南部に進むにつれて乾燥が激しくなり、パタゴニアの一部には砂漠気候もみられる。また南部は冬季(4~9月)西からの強風が吹き、寒さが厳しい。
	民族	ヨーロッパ系(スペイン人、イタリア人)97%、インディオ系3%、メスティソ3%
	宗教	カトリック92%、プロテスタント2%、ユダヤ教2%
教 育 制 度 の 概 要	学校体系	・幼稚園最終年(5歳)、小学校(6歳~13歳)、中学校・高等学校(14歳~18歳)である。
	義務教育	・初等教育の10年間(幼稚園最終年の5歳から14歳)が義務教育期間である。しかしながら、ヴェノス・アイレス州をはじめとするいくつかの州では、依然として旧制度を維持している学校も多い。現政権は教育制度の改革を進めるため、教育基本法改正案を国会に提出(2006年12月5日上院通過、下院送付)、これが成立すれば、将来の義務教育制度は、幼稚園最終年(5歳)、小学校(6歳~13歳)、中学校・実業学校(14歳~18歳)の合計13年となる予定である。 ・授業料は公立の場合無料であるが、教科書代などは有料である。
	日本と比較した教育課程上の特徴	・学校年度は3月1日に始まり12月15日で終了する。 ・3学期制をとっており、1学期は3月1日~5月31日、2学期は6月1日~8月31日、3学期は9月1日~12月15日となっている。

		<ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校は午前・午後の2部制をとっている。教師もどちらか一方の担当である。 ・授業の1単位時間は40～45分である。 ・倫理の時間がある。また、私立学校では、宗教の時間がある。 ・音楽や家庭科、図工といった教科が単独で行われず、合同で1カ月に3・4時間行われる。
	義務教育後の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校・実業学校への進学率は、都市部で80%程度であるが、卒業できるのは、60%程度ともいわれている。
	就学前教育	<ul style="list-style-type: none"> ・共働き家庭では保育園がよく利用されている。 ・幼稚園(3～5歳)があり、幼稚園の最終年の5歳から義務教育期間が開始になる。公立は無料である。
学 校 生 活	休業期間	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季休業は、1月1日～2月15日で、7月に2週間の冬季休業がある。冬季休業中は宿題を出すこともあるが、夏季休業中はださない。 ・学年は3月から始まる。
	学級担任制、教科担任制等	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校1～5年は1人の担任が全ての教科を担当する。 ・小学校6・7年になると、2人の担任が教科を半分ずつ受け持つ。 ・中学校は完全な教科担任制であるが、CELADORM, PRECEPTERと呼ばれるクラスの世話係が、毎日の出欠や行事の引率等の世話をする。彼らは教科を持たず、各教科担任が出した評定に基づいて通信簿を作成する。
	飛び級、落第の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・飛び級は稀であるが、試験にパスすれば可能性はある。この場合、飛び級するか否かは保護者が決定する。 ・小学校1年生は落第がないが、2年生からは、テストに合格しなければ落第となるので、自主的に勉強してくる。夏季休業の始めに追試があり、それにも通らない生徒のために休業の終わりに追試がある。これにも通らないと落第が決定する。
	教育内容の差異	<ul style="list-style-type: none"> ・体育はバレーボール、サッカー、水泳、ラグビーなどの実技がある。 ・小学校の理科の実験の学習は教室で行える簡単で安全な実験を行う程度である。中学校では日本程度に行っている。 ・音楽は理論ばかりの授業で、歌を歌ったり、楽器を演奏したりすることはほとんどない。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 割算の記号は÷ではなく、パーセントを表す記号の%の。が、(点)になる。 <p>(例) 日本・・・$30 \div 5 = 6$ アルゼンチン・・・$30\% \div 5 = 6$</p> <p>筆算の方法が異なる。</p> <p>日本 $\begin{array}{r} \underline{6} \\ 5) \end{array}$ アルゼンチン $\begin{array}{r} 30 \mid \underline{5} \\ 6 \end{array}$</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語の授業としては、英語またはポルトガル語がある。 ・ 学校全体としてのクラブ活動はないが、放課後を利用して希望者にコンピュータ、サッカー、ハンドボール等を行う学校が増えている。
学校行事の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 独立記念日等にセレモニーを行う。セレモニー以外の学校行事（文化祭、体育大会等）は自由参加で、その多くは学年末に行われる。学校行事で選抜され、地区大会、全国大会等と進むものもある。 ・ 修学旅行は小学校・中学校の最終学年にある PTA の主催のものもあれば、子どもたちが率先して計画を立てて実行する修学旅行もある。 ・ 授業の一環としての社会科見学等でも子どもを郊外へ連れ出す場合には、保護者の承諾書及び宣誓書が必要である。
給食	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 部制の学校では、家で昼食をとるのが一般的で、給食設備の整った学校も増えているが、給食をとるか否かは自由である。 ・ 給食はなく、校内に売店があり、自由に飲んだり、食べたりすることができる学校もある。
チャイムや号令	<ul style="list-style-type: none"> ・ チャイムは全ての授業の切れ目に鳴らされる。 ・ 号令はセレモニーの時以外はない。
教室における行動様式等の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 宿題は、社会、理科等の調べ物、数学の問題等が出される。
校則	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立の学校の制服は、白衣のようなもので、大体の学校には制服がある。私立学校では制服を着用するが、日本と同じように各学校によって異なる。 ・ 長髪の男子は必ず髪を束ねなければならない。
保護者の授業参観、保護者会、PTA	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年に 1 回授業参観（保護者に知ってもらいたいテーマの学習）、年に数回行われる行事にも出席する。教師の空き時間が黒板に書いてあり、保護者は空き時間に教師と話すことがで

		<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ COOPELADORAと呼ばれる保護者の集まりがあり、バザーの開催、修学旅行の実行等がこの会により行われる。 ・ 各学期に1回か1年に2回、学級懇談会が行われる。 ・ 家庭訪問や授業参観はなく、問題があった時にだけ、親が学校に呼び出される学校もある。
	子どもの一日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公立学校の場合、6時半か7時起床し、午前中は学校に行き、帰宅して昼食をとる。昼寝（又は休息）の後、宿題をしてから、テレビを見たり、友人と遊んだりする。9時頃、夕食をとり、11時頃就寝ということが多い。 ・ 外出時の安全指導により、小学校高学年になるまで、子どもだけで外出することは、通常許されない。したがって、手伝いの中でも買物の手伝いは小学校高学年まではしない。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校でも掃除の人を雇っているので、掃除を自分でしない場合が多い。
生活習慣等	言葉の指導面の留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本語の学習では、「ツ」と「ス」と「チュ」の区別ができない、「シ」と「チ」の区別ができない、「ヤ行」と「ジャ行」が混同する、「ハ行」の子音が脱落してしまうことがある。
	宗教上の忌避事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特にない。
	指による数の数え方 計算方法の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親指から順に小指に向けて数を1・2・3・4・5と数える。 ・ おつりは小さい額の紙幣から渡される。
	食生活	<ul style="list-style-type: none"> ・ 昼食は1時以降、夕食は8時半以降、夕食会が10時以降ということも珍しくない。 ・ 弁当というと大抵はサンドイッチ等の手軽なものばかりで、中にはスナック菓子を昼食にする場合がある。 ・ 香辛料を使うことはまれなので、カレーライスが嫌いな場合が多い。 ・ グアラニー族由来のマテ茶を飲む習慣がある。
	衣服住居の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女の子が誕生すると必ずといっていいほど、ピアスを開ける。「女性である証」として、母親からの大切な贈り物だと思っている。小さな頃の赤ちゃんは、赤ちゃんによって男の子か女の子か見分けが付かないこともあり、ピアスをしていると女の子であるということがわかるようである。 ・ 1日の気温の変化が激しいため、長袖の人と半袖の人が同時にいることは珍しくない。 ・ 家はレンガ、コンクリート、石で出来ている。アパートに

	<p>は呼出装置、解錠装置等がついていることが多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内は土足で、浴室とトイレは一緒である。
交通規則の違い	<ul style="list-style-type: none"> ・車は右側通行である。 ・信号は3色（緑・黄色・赤）で、赤になる前にも黄色になる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ティッシュペーパーは使わず、ハンカチで鼻をかむ。 ・「ベシート」という挨拶をととても大切にしている。異性、同性を問わず、頬と頬を合わせてチュという音をたてる。 ・日本については、高度な産業技術を連想する生徒が多く、アルゼンチンに住む日系人の影響もあってか、日本人は勤勉で、責任感が強いという印象を持っている。

<参考資料>

- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・諸外国の学校情報・・・・・・・・・・・・・・・・外務省
- ・世界の学校を見てみよう！（キッズ外務省）・・・・・・・・外務省
- ・日本語教材「にほんごをまなぼう」指導書資料・・・・・・・・文科省
- ・ブエノス・アイレス日本人学校（月刊誌「海外子女教育」）・・・・海外子女教育財団
- ・世界の国々・・・・・・・・・・・・・・・・アトラス
- ・ジュニア世界国旗図鑑・・・・・・・・平凡社
- ・日本語指導教材の開発・・・・・・・・井上恵子
- ・日系社会青年ボランティアより